

県キャリア教育支援センター所属のコーディネーターは、「ふるさとを想い、多様な人々と関わり合いながら主体的に社会参画をし、自己実現に向けて学び続ける人づくりの実現」を大切な視点のひとつとしてキャリア教育実践を支援しています。各学校でのキャリア教育実践を進める上で、参考にして欲しいとの思いで、各コーディネーターの思いと支援に携わる**県立学校の実践事例**を紹介します。

県立宮崎商業高校(1年生)

「職業人インタビュー」

令和5年10月17日

丸尾 和博 先生 のコメント

今年で2回目となる職業人インタビューは事前学習を更に充実させたことで、質問項目や記事が昨年よりおもしろい内容になりました。また、昨年これを経験した2年生が夏休みに県内企業数社にインタビューを実施し、その記事が一般公開されるなど、身に付けたスキルを活用してくれています。協力して下さった企業の皆様や長友様、東郷様に感謝申し上げます。



参加して下さった職業人の皆さんです。

「宮崎 20do (<https://20do.jp>)」に一部の生徒の記事が紹介されました。

本企画の目的:職業人の仕事への思いを知り、社会の中の仕事の意義について知ることで、自分の将来を考えるきっかけにする。

インタビュー形式にするねらい:事前の調査で相手への興味関心を深め「聴きたい、知りたい」という姿勢で臨むことで、質問力、コミュニケーション能力を育てほしい。

「職業人インタビューの流れ」

事前学習として「宮崎 20do」ライター東郷さんによるライティング講座を7教室に同時中継する形で実施し、生徒はインタビューについて学ぶとともに、班ごとに質問項目を検討するなど準備を重ねました。

インタビュー当日は、職業人28名が4名ずつ各クラスに入り、職業人ひとりを2班で囲む記者会見形式でインタビューを実施しました。



生徒はインタビュー内容をレポートにまとめ、相互評価を行い、職業人の方々へフィードバックしました。

コーディネーター:長友 はるな コーディネートするにあたり大事にしたことは、参加いただく職業人の方に、企画の意図や内容、先生方の思いを丁寧にお伝えすることです。そのための打ち合わせ、準備に時間がかかりますが、生徒が学校での学びと社会のつながりを意識し、キャリア形成が促される貴重な体験になってほしいという思いを先生と共有し、意見を交わしながら進めました。今回の企画では、学校を訪問しての打ち合わせ、職業人への参加依頼活動、参加者との連絡調整、事前説明会の実施、参加者へのアンケート実施を支援しました。実施後は先生方と企画を振り返り、次年度以降に向けた意見交換も行っています。

コーディネーターへの相談/依頼は宮崎県キャリア教育支援センターまで! 電話:0985-24-3156

紹介した事例以外にも多くのキャリア教育実践が「活動日誌」として掲載されています。宮崎県キャリア教育支援センターHPはこちら

